

Green Apple



春日井市立西部中学校

進路通信 第37号

2025年12月23日発行

① 「準備」の冬休み

冬休みが明けるといよいよ本格的に入試が始まります。入試が近づいてくると、緊張や不安が高まってきて、想定外のことが起こってしまうかもしれません。入試に関する様々なことをイメージしておくことができれば、想定外のことが起きても落ち着いて対応できるかもしれません。勉強もそれ以外のこと、冬休みのうちにしっかりと準備をしていきましょう。冬休みは14日間しかありません。後悔のないように、一日一日を大切に過ごして、入試に向けた「いい準備」をしましょう。特に、次の①②を意識してみてね。

① 受験予定の高校に行ってみよう！

これまでの体験入学や学校説明会の機会に、受験校に行ったことのある人が多いと思います。今度は、入試当日の集合時間に合わせて、入試当日と同様の経路（交通機関）で行ってみましょう。入試会場が高校ではない場合もあるので、募集要項などで必ず確認しておきましょう。

【確認ポイント】

- 集合時間の30分前に会場に到着できるようにしましょう。
→ 天候や交通機関の影響で、予定よりも到着が遅くなってしまう可能性があります。
- 自分一人で公共交通機関を使って受験校までたどり着けるようにしましょう。
→ 一緒にいく友達が体調不良で欠席…なんて可能性もゼロではありません。
- 電車やバスの乗り換えがある人は、駅やバス停の場所や所要時間を確認しましょう。
→ この電車に乗れなかったら次は…といったことまで調べておくと安心ですね。



② 「入試に向けた」勉強をしよう

定期テストに向けた勉強と入試に向けた勉強は同じようで少し違います。高校それぞれの出題方法や解答の仕方があります。過去問などをうまく活用しながら、出題や解答の傾向をつかむことができるといいかもしれませんね。また、今回の冬休みは「課題」がない教科もあります。今の自分に必要な勉強は何かを考えて、計画的に、効率的に、勉強を進めていきましょう。

【公立入試の過去問について】

公立入試の過去問題（5年間分）は愛知県のHPで閲覧することができます。『愛知県公立高校入試過去問』などと検索すれば出てきますので参考にしてくださいね。（著作権への配慮から未掲載の問題もあります。）



◎ 心配事の9割は起こらない！？

アメリカの大学の研究によると、心配事の80%は実際には起こらず、残りの20%のうち16%は事前に準備をしていれば対処可能だそうです。つまり、心配事の96%は準備をしていればなんとかなるってこと。起こるかもしれない想定して準備しておくことがピンチを切り抜ける秘訣です。人生も、入試当日も、何が起こるかはわかりません。入試当日に「いつも通り」に臨めるように、冬休みに自分にできる精一杯の準備をしていきましょう。



◎ 高校関係の手続きについて【お願い】

2学期の個人懇談会以降、高校出願関係の作業へのご協力ありがとうございました。**入試に関する手続きは、設定された期日を過ぎてしまうと、登録ができなくなったり、合格が取り消しになってしまったりする可能性があります。期日には余裕をもって作業を進めていただきますようお願いいたします。**